



おひさまっこの月



入園・進級からの1か月。子どもたちも保護者のみなさまも新しい環境に慣れるのに、お疲れのことでしょうね。おひさまっこの子は初日から、散歩に出かけ、タンポポやレンゲ・シロツメクサの咲く原っぱで走り回ったり、土手を駆け上がったたりして、春の自然を楽しんでいます。周辺の田んぼではトラクターが動き始め、その後ろから鳥たちがついて歩いています。それを上からカラスがみていると餌を探しているようです。子どもたちは止まっているトラクターに乗せてもらったり、シロツメクサやタンポポをつんだりして、この時期しか味わえない自然の中で走り回っています。いっぱい遊んだ後は、おながすいているので、入口のインターホンを交互に押して「ただいま～」と駆け込んできます。排泄をすませ、手を洗って食事の前に保育士に絵本を読んでもらったり、手遊びをしたりします。待てない小さい子は先に「いただきます～」とご飯を頼びます。子どもたちの元気な表情に気持ちが明るくなります。



- 10日(金) 保育料引き落とし(4.5月分)
- 13日(月) 発育測定
- 17日(金) 健康診断 14:30~
- 21日(火) 命を守る訓練
- 24日(金) 眼科健診 15:30~
- 27日(月) 誕生会

端午の節句とこいのぼり

コイは滝を登って竜になるという中国の故事から、男の子の出世、健康を祈ってたてるのぼりです。杉の葉を棒につけた田の神を迎える目じるしがもとになったといわれています。

「5月は悪月なので、邪気やけがれを除くため、薬草をとり、よもぎやシヨウブを軒につるす」と中国から伝わりました。5月はいっそう健康に注意するようにしましょう。(かこさとしの自然と生活より)

※お願い

園で与薬がある場合は必ず保育士に手渡しで渡してください。





隣の田んぼで田をおこしているトラクターをみつけて、「のりた〜い」と子どもたち。トラクターを止めてもらって、乗せてもらいました。満面の笑顔で乗せてもらっていましたよ。



季節が若葉の季節に移り変わるこの時期に道路をうれしそうにかけまわる子どもたち。若草色のスモックをみて、この地域に住む人たちが「おはよう〜」「かわいいね」「バイバイ」と声をかけてくれます。子どもたちはふと自分の影をみつけて、キャハハと笑いながら、とんだりはねたり、あたらしい発見があったのしそうですね。



【編集後記】

